

参院選と中野雅司さん

図書館で『大阪民主新報』7月14日を手にとると、1面トップに中野雅司さんの写真とインタビューが掲載されていた。中野さんについて、レポートで何回か紹介してきたが、とりわけ信頼する浪速の経済人である。中野さんの思いを多くの人に伝えたいので、途中まで紹介したい。

リードから一浪速産業株式会社代表取締役社長で自民党支持の中野雅司さんが、参院選公示日の4日、マイクを握り、日本共産党と野党の力の結集で安倍自民と維新を少数にと訴えました。中野さんにその思いを聞きました。



うちは祖父の代から自民党支持です。しかしこれだけいろんなものを見せられると、とても安倍政権のことは支持できません。森友、加計学園問題、書類の改ざんと何一つ謝りも訂正もせず、何事もなかったように進んでいっています。

憲法の問題でも、自民党の改憲案を見ていると国家主権が変わっています。僕らが生まれて育ってきた戦後の憲法の一番大事な国民主権を、なぜ国家主権に変えなければいけないのか。安倍さんはそれをたたき台にして議論しましょうと言っていますが、それが出てきた背景やどんな影響が出てくるかなどの説明がなされていません。安保法制や特定秘密保護法など自民党が通してきたやり方を見ていると、安倍さんが差配している間に憲法の議論を俎上に乗せては絶対にいけないと思います。僕らの子どもや孫の時代にそんな日本を残していった方がいいのかと強く思います。

安倍さんは経済あつてのことだとよく言いますが、消費税10%は経済を破壊します。自分たちも法人ですが、法人税がこのままでいいのか、金融取引に関わる税金が今のようによ優遇されているのかなど、税の論議こそやっていかなければならないと思います。額に汗してこつこつ働くことが、もっと高く評価されるべきだと思います。

維新は完全に安倍政権の先兵隊としてやっているようにしか思えません。維新が増えて、公務員が住民の味方ではなく政治家の手先が変わっていくようなことになれば、大変なことになります。地方選で勢いを出した維新を参院選でストップさせなければなりません。

大阪選挙区から出ている自民党候補は、立候補した時、「都」構想についての質問に、微妙だから答えられないと言いました。今まで反対で一緒にやってきたと言っていたのに急にひっくり返すような人は信じられない。通ったら維新にすり寄って「都」構想推進のほうに行くかもしれない人を、絶対に通してはいけません。

(2019年7月14日)